

# みな

## 歴史散歩

No.9

秩父地方の養蚕用具  
および関係資料

秩父で  
営まれた  
養蚕業



社会教育担当 馬場

### 養蚕とは

蚕を育てて繭をとることを「養蚕」といいます。養蚕は中国が起源とされ、少なくとも殷の時代(約三三〇〇年前)には始まっていたと考えられます。

日本では、弥生時代の遺跡で発見された絹織物が最古のものであり、中国の歴史書『魏志倭人伝』には、「稲やカラムシを栽培し、養蚕する。(現代語訳)」と記述されていることから、弥生時代には養蚕が行われていたようです。

### 盛んだった皆野町の養蚕

水田の少ない皆野町では、江戸時代から養蚕・絹織物業

が盛んに行われていました。農林水産省の統計データ(農林業センサス)によると、昭和二十五年には、町内に八〇四戸の養蚕農家がありました。しかし、化学繊維の登場などにより生糸が売れなくなつたため、秩父を含め全国的に養蚕農家は激減しました。

### 養蚕用具コレクションに

「秩父地方の養蚕用具及び関係資料」は、皆野町・秩父市・長瀬町・小鹿野町の範囲で収集された合計一、二四五点のコレクションで養蚕の各工程に使用される用具と、繭の収穫から糸取りに至る収穫処理用具がそろっています。

当コレクションは、範囲・規模・体系的のいずれにおいても県下随一の資料であることから、平成二十年に県の有形民俗文化財に指定されました。

資料は現在、旧農山村具展示館に収蔵されています。旧農山村具展示館は、毎月第四日曜日及び十一月十四日(県民の日)に開館していますので、ぜひご覧ください。



戦後の回転まぶし(下田野)



養蚕用具コレクション(一部)

### 災害義援金(3月31日現在)

#### 東日本大震災義援金

9,857,098円

#### 平成28年熊本地震義援金

2,285,530円

#### 平成29年7月5日からの大雨災害義援金

29,285円

ありがとうございました。皆さんの善意により、多くの義援金をお寄せいただきました。引き続き、ご協力をお願いします。

受付 役場・長生荘

問合せ 社会福祉協議会  
☎62-4615

### 緑の募金運動

緑の募金は、学校・公園などの公共施設の植樹、苗木配布、森林整備などに使われ、地球温暖化防止にも貢献しています。今年も区長を通じてお願いしますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。



主催 (公社)埼玉県緑化推進委員会

問合せ 産業観光課農林振興担当  
☎62-1462

### 日赤募金 5月1日～31日

5月は赤十字運動月間です。赤十字の事業は皆さんから寄せられた活動資金により行われています。今年もご協力をお願いします。

受付 社会福祉協議会  
☎62-4615

### 赤い羽根共同募金 ありがとうございました

10月を中心に実施した「赤い羽根共同募金運動」では、皆さんのご協力により、多額の募金をお寄せいただきました。

この貴重なお金は、埼玉県共同募金会を通じて、地域で行う各種福祉活動やボランティアの育成、民間福祉施設の整備、孤立防止事業等に役立たせていただきます。

募金額 1,437,803円